

実務経験のある教員等による授業科目一覧

[工学部 環境社会工学科 環境工学コース]

年度	学期	時間割コード	科目	講義題目	単位数	責任教員名	有する実務経験と授業への活用状況
2019	1		コンストラクションマネジメント		2	高野 伸栄	建設行政での実務経験がある教員により、インフラ整備事業が抱える問題と対応策について身に付けさせる。
2019	1		環境リスク解析学		2	松井 佳彦	厚生労働省やWHOの水道水質基準策定において実務経験のある教員が、リスク評価管理の実例を紹介し、課題を議論する。
2019	2		大気保全工学		2	松井 利仁	国、各種自治体の環境アセスメント等に関する実務経験のある教員が、大気環境問題の実例について紹介する。
2019	2		廃棄物管理工学		2	石井 一英	環境省、北海道、札幌市において廃棄物処理計画策定に関する実務経験のある教員が、廃棄物管理の実例について紹介し、課題を議論する。
2019	1		環境工学序論		1	松井 利仁	国、各種自治体の環境アセスメント等に関する実務経験のある教員が、大気環境問題の実例について紹介する。
2019	1		建築都市学概論		2	菊地 優	民間機関にて建築設計に携わった経験を有する教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2		寒地環境工学		2	蟹江 俊仁	民間機関において永久凍土地帯・氷海域での油田開発事業等に関わった経験を有する教員が実務経験に基づいて講義を行なう。
2019	2		設計製図		1	佐藤 久	オムニバス形式で企業において上下水道、廃棄物処理、エネルギーシステムの計画に携わる専門家の指導・助言を得て、現場における課題とその解決法について学ぶ。
2019	1		図形科学		2	菊地 優	民間機関にてCG制作に携わった経験を有する教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	2		エネルギー工学概論		2	千葉 豪	・オムニバス形式で、日本原子力研究所(現:日本原子力研究開発機構)において原子力発電所の廃止措置の研究開発に携わった経験を有する教員らが実務経験に基づいた講義を行う。また、企業において原子力の研究・開発に携わる講師を招き、現場での課題について講義を行う。 ・企業において熱工学に関わる研究をしていた者が、本オムニバス授業科目の教員の一人として講義を行う。
2019	2		環境物理		2	松井 利仁	国、各種自治体の環境アセスメント等に関する実務経験のある教員が、大気環境問題の実例について紹介する。
2019	1	016737	基礎図形科学		2	菊地 優	民間機関にてCG制作に携わった経験を有する教員が、実務経験に基づいた講義を行う。
2019	1		機械工学概論		2	本田 真也	企業において熱工学に関わる研究をしていた者が、本オムニバス授業科目の教員の一人として講義を行う。
2019	2		計画数理学		2	石井 一英	北海道および札幌市において環境基本計画、廃棄物処理計画策定に関する実務経験のある教員が、計画づくりの実例について紹介し、課題を議論する。
2019	2		構造力学Ⅰ		2	蟹江 俊仁	民間機関における「構造計画・構造設計」実務に携わった経験のある教員が、実務経験も交えて講義を行なう。
2019	2	016279	構造力学Ⅱ		2	蟹江 俊仁	民間機関における「構造計画・構造設計」実務に携わった経験のある教員が、実務経験も交えて講義を行なう。
2019	1		生物工学概論		2	高木 睦	パイオ技術者の経験に基づき、社工系などの受講生にも、広範囲の産業分野で生物工学の知見が必要であると説明する。
2019	2	016387	土の力学Ⅰ		2	石川 達也	企業において地盤工学に関する研究・開発に携わった経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。
2019	1		土の力学Ⅱ		2	石川 達也	企業において地盤工学に関する研究・開発に携わった経験のある教員が実務経験を交えた解説を行う。
2019	1		分析化学		2	佐藤 久	公害防止管理者等国家試験受験講習会の講師として実務経験がある教員が、実際の水処理技術の実例について講義を行う。

合計 38 単位